

令和6年度 事業報告等について

1-1 文化財の発掘調査及び普及啓発事業(公益目的事業)

県内における埋蔵文化財の発掘調査及び考古学上の学術技術の研究・研修を行うとともに、文化財保護思想の涵養と普及を図り、県民生活の向上と地域文化の進展に寄与するため次の事業を実施した。

(1)埋蔵文化財の調査、保護のための発掘調査

ア 一般調査受託事業

番号	事業名 (市町村名)	委託者	当初契約年月日 変更契約年月日	当初契約額 変更契約額 (消費税を除く)(円)	精算額 (消費税を除く)(円)	終了日	備考
1	令和6年度首都圏中央連絡自動車道路(大栄～横芝)埋蔵文化財発掘調査業務 (成田市・多古町・芝山町・横芝光町)	東日本高速道路株式会社	令和6年4月1日 令和7年3月31日	315,462,000 250,886,000	250,886,000	令和7年3月31日	確認調査 本調査 整理 報告書刊行 向田城跡(2)-2 向田城跡(2)-2 木戸台遺跡ほか 吹揚遺跡ほか
2	更なる機能強化整備に係る埋蔵文化財調査(2024) (成田市・芝山町・多古町)	成田国際空港株式会社	令和6年3月29日 令和7年3月31日	2,752,689,000 2,430,537,000	2,430,537,000	令和7年3月31日	確認調査 本調査 整理 小泉仲峯遺跡(4)-2ほか53地点 小泉仲峯遺跡(4)-2ほか53地点 干芝遺跡(2)ほか
3	令和6年度佐倉第三工業団地に伴う埋蔵文化財調査 (佐倉市)	千葉県土地開発公社	令和6年4月10日 (第1回変更) 令和7年3月6日 (第2回変更) 令和7年3月28日	127,569,000 102,090,000	102,090,000	令和7年3月31日	確認調査 本調査 整理 神門道乗谷遺跡(1)-2ほか2地点 神門道乗谷遺跡(1)-2ほか2地点 神門道乗谷遺跡(1)
合 計				3,195,720,000 2,783,513,000	2,783,513,000		発掘作業58地点 合計面積819,683㎡

イ 発掘支援受託事業

番号	事業名 (市町村名)	委託者	当初契約年月日 変更契約年月日	契約額 (消費税を除く)(円)	精算額 (消費税を除く)(円)	終了日	備考
1	(令和5年度契約分) 埋蔵文化財発掘調査支援業務の変更契約 (流山市・柏市)	千葉県	令和5年6月1日 (第1回変更) 令和5年8月1日 (第2回変更) 令和6年3月22日	単価契約	63,396,948	令和6年6月30日	(第1回変更) 冷房設置に伴う単価追加 ・組立式仮設ハウス(冷房施設あり) ・調査補助員(発掘 冷房施設あり) (第2回変更) 履行期間の延長 原契約 令和5年6月1日～令和6年3月31日 変更後 令和5年6月1日～令和6年6月30日
2	(令和6年度契約分) 埋蔵文化財発掘調査支援業務 (流山市・柏市・八千代市・印西市・鎌ヶ谷市・野田市)	千葉県	令和6年6月1日	単価契約	430,189,360	令和7年3月31日	
合 計					493,586,308		発掘作業13地点 合計面積43,317㎡、古墳1基

(2)埋蔵文化財の出土品整理、報告書刊行

ア 報告書の刊行

番号	報 告 書 名	備 考
1	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書48 ー横芝光町吹揚遺跡・大山遺跡(1)(2)・遠山天ノ作遺跡(3)(4)ー	第799集
2	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書49 ー成田市大安場Ⅰ遺跡(3)～(7)・辰巳ヶ入遺跡(2)ー	第800集
3	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書50 ー多古町間倉遺跡ー	第801集
4	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書51 ー芝山町・横芝光町高谷川低地遺跡(1)～(9)ー	第802集

(3) 普及事業等

ア 普及事業

番号	事項	内容	備考
1	遺跡見学会	発掘作業及び整理作業の成果を、児童・生徒を含む県民に広く公開して、埋蔵文化財への理解と関心を深める一助とする。	令和7年2月9日(日) 佐倉市神門道乗谷津遺跡 参加者 250名
2	記念誌の刊行	財団の50年の歴史を振り返り、実績等をまとめた記念誌『50年のあゆみ』を刊行した。	1,000部
3	出土遺物公開事業	出土品の有効活用及び県民の埋蔵文化財への理解促進と文化財保護思想の普及を目的とする事業である。 令和6年度は、「財団設立50周年記念展part1 地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生」と題し、2会場で、設立から50周年を迎えた財団が発掘した選りすぐりの考古資料をとおして、多様な文化の様子を知っていただくことができるように、出土資料と解説パネルにより、わかりやすく解説した。 あわせて関連事業として、展示解説会、講座、ワークショップ、講演会、トークイベントを開催した。 なお、本事業の一部は、令和6年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(「地域の特色ある埋蔵文化財活用」)事業の交付を受けて実施した。	【展示会場】 (1) 県立房総のむら風土記の丘資料館 会期 令和6年9月21日(土)～令和6年11月17日(日) 50日間 入場者 34,655名 (2) 県立中央博物館 会期 令和6年12月21日(土)～令和7年2月9日(日) 38日間 入場者 5,299名 展覧会総入場者数 39,954名 【展示解説会】 (1) 県立房総のむら風土記の丘資料館 実施日 令和6年9月29日(日)・11月9日(土) 参加者 86名 (2) 県立中央博物館 実施日 令和7年1月12日(日)・2月2日(日) 参加者 62名 【講座】 (1) 県立房総のむら風土記の丘資料館 実施日 令和6年10月27日(日) 参加者144名 【ワークショップ】(貝輪づくり) (1) 県立房総のむら風土記の丘資料館 実施日 令和6年10月14日(月・祝) 参加者 16名 (2) 県立中央博物館 実施日 令和7年1月11日(土) 参加者 16名 【講演会】 会 場 県立中央博物館 令和7年1月26日(日) 参加者125名 【トークイベント】(「縄文愛を熱く語ろう」) 会 場 千葉市生涯学習センター 令和7年1月19日(日) 参加者159名
4	記念グッズの配布	財団設立50周年の記念グッズ(クリアファイル15,000部)を作成し、展示見学会、イベント参加者、関係者に配付した。	令和6年度配布部数 8,100部

番号	事項	内容	備考
5	広報紙の発行	文化財センターの業務内容や埋蔵文化財について広く一般に紹介し、発掘調査や埋蔵文化財が身近なものであることの認識を深めてもらうとともに、文化財保護の重要性について理解を図るため、広報紙を作成し、学校及び生涯学習施設等に配布した。	「房総の文化財」64号（令和7年3月24日発行） A4版 10,000部 配布先 博物館、図書館、公民館、県内小中学校等
6	年報の刊行	令和5年度事業の内容や成果等を取りまとめて「年報」を作成し、配布した。	「千葉県教育振興財団文化財センター年報 No.49－令和5年度－」 （令和6年9月30日発行） A4版 700部 配布先 教育委員会、大学、博物館、図書館等
7	ホームページの公開	文化財センターの業務と調査成果等を全国に紹介した。 展覧会、現地説明会、各種事業について随時掲示した。また、広報紙・研究連絡誌のダウンロードページを更新した。 併せて、調査報告書一覧、パンフレット類、申請書類、所在地・連絡先を掲示し、配布業務の軽減を図った。	令和6年度年間アクセス数 267,259 令和5年度 "

イ 研究事業(各種研修・全国埋蔵文化財法人連絡協議会等を含む)

番号	事 項	内 容			
1	研究連絡誌の刊行	技術職員の資質向上及び相互の調査研究に係わる研鑽のため、研究連絡誌第91号・第92号を刊行した。 A4版 750部 配布先 教育委員会、大学、博物館、図書館等			
2	調査・研究用資料の整備及び新技術の検討	○調査・研究用資料の整備 埋蔵文化財発掘調査報告書等の資料整理・公開などを実施した。 蔵書データ数143,893冊 令和6年度受入図書2,474冊(購入311冊、寄贈・寄託2,117冊、他46冊) 令和6年度図書室利用状況(利用者数3,995人、貸出数5,673冊) ○埋蔵文化財調査の新技術の検討 「蛍光X線分析装置」を導入するとともに、プロジェクトチームを立ち上げ、運用方法等の検討を行った。			
3	発掘調査報告書のデジタル化	発掘調査報告書をデジタル化してWEB上で公開する「全国遺跡報告書総覧」への登録に向けて、当財団のデジタル化されていない発掘調査報告書をデジタル化する作業を順次行った。			
4	各種研修会等	(開催) ○第1回職員研修会 令和6年7月12日(金) 本部4階大会議室、県立中央博物館 ○第2回職員研修会 令和6年1月31日(金) 本部4階大会議室、県立中央博物館 ○インターンシップ受け入れ 令和6年10月24日(木) 本部、多古町五反田清水沢遺跡(1) 大学生7名参加 (参加) ○市町村担当職員講習会(千葉県) 令和6年6月6日(木)～7日(金) 県立中央博物館 ○文化財担当者専門研修「文化財三次元計測課程」 令和7年1月21日(火)～24日(金) 奈良文化財研究所 ○埋蔵文化財担当職員講習会(文化庁ほか) 令和6年9月18日(水)～20日(金) オンライン受講 1名参加			
5	全国埋蔵文化財法人連絡協議会等	○全国埋蔵文化財法人連絡協議会第45回総会 令和6年6月13日(木)・14日(金) ウエディングエルティ(福島県福島市) 参 加 ○令和6年度関東ブロック第1回協議会(総会) 令和6年7月26日(金) 東京都埋蔵文化財センター 参 加 ○令和6年度関東ブロック第2回協議会 令和6年12月18日(水) 熊谷市男女共同参画推進センター 参 加 ○令和6年度第1回関東考古学フェア実行委員会 令和6年5月2日(木) 書面開催 参 加 ○令和6年度第2回関東考古学フェア実行委員会 令和6年10月2日(水) 東京都教育庁地域教育支援部大塚分室 参 加 ○令和6年度第3回関東考古学フェア実行委員会 令和7年2月19日(水) 東京都埋蔵文化財センター 参 加 ○関東考古学フェア実行委員会主催 遺跡発表会「発掘された関東の遺跡2024」 令和6年6月22日(土) 千葉県立中央博物館 参 加 ○令和6年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会 令和6年10月10日(木)・11日(金) ホテル北野プラザ六甲荘 参 加 ○デジタル技術等活用推進委員会関東ブロック地区委員会第1回委員会 令和6年7月4日(木) Webによる遠隔開催 参 加 ○デジタル技術等活用推進委員会関東ブロック地区委員会第2回委員会 令和7年3月28日(金) 書面開催 参 加			

1－2 労働者派遣事業（収益事業）

埋蔵文化財発掘調査の円滑な実施に寄与するため必要な労働者を派遣して行う本事業は、該当する事業の受託がなかったため、実施しなかった。

2 社会教育等支援事業(公益目的事業) 及び 県立施設における利用者サービス事業等(収益事業)

(1)「房総のむら」指定管理業務受託に係る事業

千葉県からの指定を受け、房総のむら(千葉県印旛郡栄町龍角寺1028)の管理運営を行った。

ア 契約期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 2,306,000千円(税込)

(内訳 R6:461,200千円 R7:461,200千円 R8:461,200千円 R9:461,200千円 R10:461,200千円)

ウ 利用状況等(総括)

	R6年度	R5年度	前年度比
開館日数	301	302	△ 1
入館者数	161,324	157,532	3,792
うち有料	46,141	43,921	2,220
うち無料	115,183	113,611	1,572
団体数	372	369	3
団体入館者数	31,438	29,352	2,086
個人入館者数	129,886	128,180	1,706
外国人入場者数	4,426	4,460	△ 34
うちタイ	279	567	△ 288
うち台湾	1,576	1,381	195
うちその他	2,571	2,512	59
体験者数	102,282	110,469	△ 8,187
うち当日体験	79,574	85,783	△ 6,209
うち予約体験	3,161	3,132	29
うち団体系験	19,547	21,554	△ 2,007
ロケ使用回数	9	6	3
うち映画	1	2	△ 1
うちテレビドラマ	5	2	3
うちCM	1	1	0
うちその他	0	1	△ 1

エ 主な年間事業の報告

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	【体験・実演・展示】 農家・商家・武家屋敷・風土記の丘資料館などでの 体験・実演・展示	通年	農家では野菜の収穫や農具体験、ぼっち笠作りの実演などを行い、商家や武家屋敷では、茶道、そば打ち、太巻き寿司作り、絵付け、紙漉きなどの体験のほか、杉玉作りなどの実演を行い、風土記の丘資料館では、土器作りや原始・古代のアクセサリ作り体験のほか考古学講座などを行った。	161,324	収益(税抜) 463,601,671
	【展覧会】 千葉県誕生150周年記念 「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展	3月23日(土)～ 5月12日(日)	本展示は千葉県立中央博物館が主催し、県内を巡回する展示であり、房総のむらも協力し、風土記の丘資料館第3展示室で展示を行った。房総のむらで所有する絵葉書コレクションも併せて展示した。	32,213 (R6年度)	
	「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～ ー千葉県教育振興財団設立50周年記念展 Part1ー」	9月21日(土)～ 11月17日(日)	公益財団法人千葉県教育振興財団(文化財センター)が11月に設立50周年を迎えたことを記念し、今までの発掘調査で出土した選りすぐりの考古資料の展示するなかで、今年度はPart1として旧石器・縄文・弥生時代の展示を行った。	34,655	費用(税抜) 456,213,346
	企画展 「地域に生きる醤油づくり」	12月7日(土)～ 2月2日(日)	千葉県の醤油作りは17世紀前半に始まり、その生産量は現在、野田市と銚子市を中心に日本一を誇っている。醤油生産の概要や、今も地域に生きる醤油作りを、聞き取りを基にしたパネルや道具、資料などで紹介した。	21,571	
	トピックス展 「房総の牧」	2月22日(土)～ 4月20日(日)	房総地域では古来より馬の生産が行われており、江戸時代には幕府直営の牧が設置されていた。本展覧会では、牧の姿や役割の移り変わりの様子や管理に関わった人々について、当時の資料や道具、写真を用いて紹介している。	18,685 (R6年度)	
	【イベント】 「春のまつり」	5月2日(木)～ 5月6日(月・振休)	「あそびと暮らし」をテーマに、春を満喫できる様々な体験を実施した。そのほか、大道芸や演武の上演、伝統工芸品の実演・販売などを行った。開催期間を5日間とし、うち、5日を「わくわくデー」と題して実施した。	14,971	
	「むらの縁日・夕涼み」	8月3日(土) ・4日(日)	「涼む」をテーマに日中は夏にちなんだ製作体験を行ったほか、夕方は怪談話や和太鼓の演奏などを行い、賑やかな縁日と夕涼みの雰囲気再現し、来館者の増加を図った。浴衣の方は入場無料。	8,371	
	「秋のまつり」	10月5日(土)・ 6日(日)	「秋の収穫への感謝」をテーマに、実りの秋を感じることでできる体験や民俗芸能、地元の生産物の販売などを実施した。	2,599	
	「文化の日・日本遺産北総四都市デー」	11月3日(日・祝)	文化の日に合わせて、伝統技術を持った職人による実演・販売や体験、大道芸の上演等を行った。また、日本遺産北総四都市江戸紀行の構成市の観光・物産等の紹介を行う機会とした。入場無料。	5,831	
	「むらのお正月」	1月3日(金)・ 4日(土)	獅子舞や羽根つきなどの昔懐かしい日本のお正月風景を展示するとともに、お正月ならではの体験を実施した。和服の方は入場無料。	8,049	
	「さくらまつり」	3月20日(木・祝) ～24日(月)	館内で咲き誇る約300本の「桜」を広く県民に紹介し、「春」や「桜」に関する実演、体験を実施した。なお、桜の開花には早かった。開催期間を5日間とし、うち、23日を「わくわくデー」と題して実施した。	5,518	

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	【講座・講演会・見学会等】 「伝統文化入門」		日本の伝統的な芸能などの実演及び体験、講演をととして、日本文化への理解を深めていただいた。	58	
		6月22日(土)	紙切りの実演・解説及び体験指導	(30)	
		9月29日(日)	利き茶体験	(12)	
		12月22日(日)	お正月の寄せ植え体験	(16)	
	「教員のための博物館利用研修会」	7月26日(金)	教員を対象に「房総のむら」についての理解を深め、学校で利用する際の学習計画の立案や事務手続きのポイント等を説明した。	2	
	「考古学講座」		展示担当職員及び外部講師による講演会を行い、考古学への理解を深めた。	300	
		5月19日(日)	「関東南部の弥生時代のはじまり」	(46)	
		8月25日(日)	「埼玉古墳群からみた東国の古墳文化」	(53)	
		10月27日(日)	教育振興財団設立50周年記念展示「地中からのメッセージpart1」関連講演		
			「後期旧石器時代の千葉」	(57)	
			「千葉県の縄文貝塚」	(53)	
			「房総半島の弥生時代-弥生再葬墓に見る地域間交流」	(34)	
		2月23日(日・祝)	「考古学から見た近世下総の牧」	(57)	
	「古墳ガイド」	4月7日(日)	風土記の丘資料館学芸員が風土記の丘と周辺の高墳のガイドツアーを行い、古墳への理解を深めた。	68	
		6月8日(土)			
		11月9日(土)			
		3月1日(土)			
	「建物ガイドツアー」	5月11日(土)	風土記の丘資料館学芸員が房総のむら敷地内に移築されている文化財建造物のガイドツアーを行い、文化財建造物への理解を深めた。	51	
		6月29日(土)			
		1月13日(月・祝)			
		2月11日(火・祝)			
	「展示解説会」	4月14日(日)	風土記の丘資料館の常設展示を資料館学芸員が解説を行い、展示内容への理解を深めた。	87	
		6月9日(日)			
		7月15日(月・祝)			
		9月8日(日)			
		11月2日(土)			
		12月7日(土)			
		1月25日(土)			
		3月8日(土)			
	「子ども里山観察会」		元中央博物館研究員を講師に招き、里山の自然が残る房総のむらの敷地内でキノコの観察を行った。	19	
		10月13日(日)	「やさしいきのこ観察会」 ※「夏の夜の虫たち」(7月6日(土))は、雷雨のため中止	(19)	
	「里山観察会」		きのこ、コケともに元中央博物館研究員を講師に招き、房総のむらの豊かな里山の自然環境を活かして、自然観察会を行った。	25	
		10月19日(土)	野生のきのこ	(15)	
		11月23日(土・祝)	コケ植物	(10)	

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	「野鳥観察会」	2月8日(土)	千葉市野鳥の会会長を講師に招き、房総のむら及び周辺で見られる冬の野鳥の観察会を行った。	3	
	「ボランティアによる里山ギャラリー」		来館者が房総のむらで撮影した写真に俳句を添えて、東屋前のよしず小屋に屋外展示した。房総のむら自然観察ボランティアが同行し支援を行った。	98	
		5月25日(土) ・26日(日) 11月9日(土) ・10日(日)		(48) (50)	
	「ボランティアによる自然観察会」	4月21日(日) 5月12日(日) 6月16日(日) 8月18日(日) 9月15日(日) 10月20日(日) 11月17日(日) 12月15日(日) 1月19日(日) 2月16日(日)	房総のむらボランティアによる自然観察会を行った。 7月14日(日)、3月16日(日)は荒天のため中止	126	
	「北総江戸めぐり」	6月9日(日) 11月10日(日)	江戸時代に栄え、今にその歴史を伝える北総の名所をめぐり、歴史的な建造物や当時の生活などへの理解を深めた。6月9日(日)佐倉市、11月10日(日)八街市	7	
	「房総座(房総のむら落語会)」	6月2日(日) 11月17日(日) 2月15日(土)	日本の伝統芸能を堪能できる落語会を3回開催した。 6月2日:柳家三三 11月17日:柳家三之助 2月15日:柳家三三	402 (146) (110) (146)	
	「歴史の里の音楽会」	10月20日(日)	千葉交響楽団の楽団員による演奏会を旧学習院初等科正堂で開催した。	107	
	「ユニセフ・ラブウォーク in 房総のむら」	11月23日(土・祝)	房総のむらとその周辺を会場に、歴史と自然を学びながら、国際理解を深めることを目的とした事業を実施した。千葉県ユニセフ協会との共催事業である。	90	
利用者 サービス事業 (収益事業)	【物品販売】 売店	通年	房総のむら総合案内所「総屋」及び風土記の丘資料館売店において、房総の伝統的工芸品や来館の記念となる房総のむらオリジナルグッズ、生産物、考古学関連グッズ等を販売した。		収益(税抜) 9,579,834
	【ロケ】	随時	Netflixドラマ「イクサガミ」、フジTVドラマ「嘘解きレトリック」など計9件のロケを受け入れ、房総のむらの知名度向上に役立てた。		費用(税抜) 5,262,467

(2)「鴨川青少年自然の家」指定管理業務受託に係る事業

千葉県教育委員会からの指定を受け、鴨川青少年自然の家(千葉県鴨川市太海122-1)の管理運営を行った。

ア 契約期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 572,619千円(税込)

(内訳 R3:117,484千円 R4:115,208千円 R5:112,447千円 R6:115,783千円 R7:111,697千円)

ウ 利用状況等(総括)

	R6年度	R5年度	前年度比
開所日数	332	334	-2
利用者数	48,199	42,435	5,764
うち宿泊者	24,791	22,699	2,092
団体数	442	402	40
うち個人	8	4	4
うち団体	434	398	36
カッター利用者数	6,369	5,763	606
カッター利用延べ艇数	262	238	24
シーカヤック利用者数	1,830	1,753	77
シーカヤック利用延べ艇数	920	880	40
創作活動参加者数	3,206	2,573	633
創作活動参加団体数	65	69	-4

エ 主な年間事業の報告

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	春の訪れを探す!「房総ハイキング」	4月14日(日)	愛宕山の峰岡山駐屯地の三角点や山道を歩き、大山千枚田までハイキングを行なった。春の植物や生き物を探して楽しむ様子がみられた。	10人	収益(税抜) 165,352,048円
	ぷちキャンプでカレーをつくろう!	4月20日(土)	カレーを煮込んでいる間にタープの設営を行なった。出来上がったカレーはグループごとにタープの下で食べ、キャンプ気分を感じる事ができた。	11人	
	関東ふれあい旅 ～君津亀山の自然と寺社を訪ねて～	5月12日(日)	新緑が綺麗な亀山の道を歩き、三石山観音寺でお坊さんの説明、三石山展望台で講師の方から説明を聞いた。参加者のみなさんが景色や会話を楽しむ様子がみられた。	28人	
	高校生のためのボランティア体験講座①	6月8日(土)	講師からボランティアの基礎を中心に講義を受けた。講義に対して熱心に取り組む姿が見受けられた。	24人	費用(税抜) 180,346,067円
	磯の生き物を観察しよう	6月22日(土)	午前講師から採取した磯に住む生物の説明を受け、午後は所員から海洋ゴミ問題についての話を聞いた。生物や海、自然がつながっている事を感じる事ができた。	37人	
	高校生のためのボランティア体験講座②	6月29日(土)	災害時対応のカレー作りと、避難所生活時の段ボールを活用した簡易トイレ作りの体験活動を行った。活動を通し水の大切さや段ボールの活用方法について理解をすることができた。	23人	
	マリンアドベンチャーin鴨青キャンプ	7月27日(土) ～28日(日)	カヤック体験と筏体験を行なった。カヤック体験ではバディーと協力して太海海岸と八岡海岸を往復し、筏体験では参加者達で協力しながら筏の操船を楽しむことができた。	56人	
	真夏のウォータースプラッシュ2024	8月10日(土)	チームごとに協力しながら水風船を使った様々なゲームを行った。各チームで協力して風船に水を入れるところから始まり、チーム対抗でゲームを楽しんだ。	30人	
	シーカヤックツーリング ～房総の大海原へ、さあ漕ぎ出そう～	8月24日(土)	天候不良のため中止		
	高校生のためのボランティア体験講座③	9月8日(日)	参加者自らが装具を付け高齢者や障害者の状況を実体験しながら、支援の声掛けや補助について学ぶことができた。	29人	
	鴨青キャンプin清和県民の森	9月22日(日) ～23日(月)	天候不良のため中止		
	鴨青地引き網体験	10月12日(土)	秋晴れの穏やかな天候のなか、地引網体験を行った。地元漁師の方から捕まえた魚の説明を受け、魚の知識を高めた。	40人	
	カヤック大冒険～みずうみ編～	10月20日(日)	トコジラミによる宿泊施設利用休止期間中に利用を予定していた団体が利用を希望したため中止		
	鴨青ハロウィンナイト	10月26日(土)	仮装して、フォトスポットで記念撮影をしたり、肝試しやバンドのライブ演奏を楽しんだりした。最後にはキャンプファイアーで炎を囲みながらみんなで踊ることができた。	61人	

事業種別	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	第36回鴨青まつり	11月17日(日)	出店数も今年は去年よりも1.5倍の40団体に増え、参加者を楽しんでもらう事ができた。ボランティアも近隣の中高生28名の協力がありみんなで運営することができた。	623人	
	晩秋の房総の山を歩こう	11月23日(土祝)	トコジラミによる宿泊施設利用休止期間中に利用を予定していた団体が利用を希望したため中止		
	連弾ピアノコンサートin鴨青	11月24日(日)	優雅で力強い連弾ピアノの演奏を楽しんだ。最後には今回のテーマである「一緒に歌う」こともできた。	50人	
	ウミホタル観察会Ⅰ	12月1日(日)	講師の方からウミホタルの生態や採取方法の説明を受けてから採取を行った。神秘的な光を観察することができた。	25人	
	第6回鴨青オリパラピック	1月15日(水)	2か所の施設からの参加者が、ボランティアで参加した高校生とチームを組んで、一緒にパラスポーツを楽しんだ。	41人	
	飛んでけ！ブーメラン＆竹とんぼ	1月18日(土)	牛乳パックを再利用してブーメランと竹とんぼを作り、飛行ゲームを行った。工作する楽しさを味わうことができた。	27人	
	ウミホタル観察会Ⅱ	2月1日(土)	講師の方からウミホタルの生態や採取方法の説明を受けてから採取を行った。採取に時間がかかったが、神秘的な光を観察することができた。	24人	
	ペットボトルロケットコンテストin鴨青	2月16日(日)	親子でのペットボトルロケットの制作と記録会を行った。工作する楽しさや粘り強く取組むことや工夫することで記録につながることを実感することができた。	31人	
	ブルーダック千葉クエスト！～路線バスの旅～	3月1日(土)	館山城、安房神社、野崎灯台をめぐる路線バスの旅を行なった。各目的地ではグループごとに行動して交流を深めたり、地域の遺跡についての理解を深めたりすることができた。	16人	
	トレジャーハンティング～海洋生物の生態を探ろう～	3月15日(土)	ウォークラリーを行いながら鴨川シーワールドまで行き、ナイトアドベンチャーで夜の水族館を見学した。見学や係の人からの説明により、知識を得ることができた。	35人	
	【共催】ブルーダック子ども教室	通年	地域の子ども会や学童クラブへの支援事業で、各会に所属する子ども達が様々な活動を経験することにより、生活体験を増やし好ましい人間関係づくりを学んだ。	113人	
	【共催】ブルーダック土曜スクール	通年	地域の土曜スクールへの支援事業で、子ども達に様々な活動の場を提供し、社会経験を増やすとともに好ましい人間関係づくりを学んだ。	387人	
	【共催】ラブウォークとユニセフ学習会	6月9日(日)	海辺の豊かな自然に触れながらウォーキングを行った。参加者同士が世界の子どもの置かれている現状や国際協力について話し合える機会となった。	84人	
	【共催】この本だいすき 房州鴨川セミナー	10月27日(日)	絵本作家による紙芝居があり、参加したたくさんの子どもの好評を得た。良い本との出会いにより、豊かな心の成長を育む機会となった。	162人	

	主な事業・企画名	実施期日	事業概要	利用者数(人)	収支金額(円)
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	【共催】 ブルーダック旗争奪親善少年ソフトボール大会	11月23・24(土祝・日) 12月1日(日)	鴨川市内外のソフトボールチームの親善試合を通して、技術の向上や近隣地区の子ども同士の親睦を深めるとともに、青少年の健全育成の一助とした。	798人	
	【共催】セカンドスクール豊かな体験・確かな学び	5月上旬	希望者がいなかったため中止		
	【共催】鴨川分教室運動会	6月上旬	協力依頼団体の判断により中止		
利用者 サービス事業(収 益事業)	利用者サービス事業		利用者の利便性を図るため、自動販売機を設置して清涼飲料水などの販売を行った。		収益(税抜) 580,091円 費用(税抜) 258,638円

3 千葉県スポーツ振興基金の管理運営事業(公益目的事業)

千葉県スポーツ振興基金の運用益による継続的な財源の下、県内のスポーツ団体等への助成を通じ、千葉県の生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図った。

事業名	事業概要		
千葉県スポーツ振興基金 の管理運営	本県のスポーツ事業やレクリエーション活動の振興を図るため、スポーツ振興基金の管理運営に関する業務を実施した。		
	(1)造成事業		
	ア 造成状況		
	県・市町村出捐金		0円
	企業・団体・個人などの民間寄附		679,490円
	アクアラインマラソンチャリティ		1,516,475円
	記念品付募金(クオカード)		925,481円
	自動販売機手数料		49,626円
	合 計		3,171,072円
	イ 造成累計 1,253,680,364円 ……造成進捗率(62.7%)		
	(2)助成事業		
	助成状況		
	千葉県スポーツ協会	1件	3,190,000円
	千葉県レクリエーション協会	1件	1,070,000円
	千葉県スポーツ推進委員連合会	1件	1,070,000円
	市町村	27件	3,741,110円
	千葉県障がい者スポーツ協会	1件	300,000円
総合型地域スポーツクラブ	5件	360,000円	
合 計	36件	9,731,110円	
(3)運営			
千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会幹事会 (令和 6年 4月)書面による			
〃	募金推進委員会	(〃 5月)書面による	
〃	助成事業説明会	(〃 9月)資料配付による	
〃	審査委員会	(〃 12月 6日)	

4 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

当財団では、理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するため、各規程及び各要綱等を整備し、これに基づき具体的な取り組みを行っています。

また、当該規程等の運用状況について重要な不備がないか、管理部門及び事業部門において常時、相互チェックを行っています。令和6年度の具体的な取り組みは次のとおりです。

(1) 内部監査

内部監査実施要領に基づき、財団運営の適正かつ能率的な運営に資することを目的として、対象所属の事務の実施状況等を確認した。

これによる特筆すべき注意事項等はなく、概ね適正であった。

なお、令和6年度は文化財センターにおいて、実施した。

(2) 個人情報関係の監査

個人情報保護基本規程に基づき、監査員を編成し、監査計画により個人情報の適正管理について内部監査を実施するとともに、不適合事項及び改善を要する事項の相互確認を行い、適正な個人情報の取扱い等の確保に努めた。

(3) コンプライアンス研修

個人情報の取扱いを主題として、個人情報保護規程に基づく研修を実施し、職員の意識向上に取組んだ。